



輝け！北っ子！

鑑賞教室

～本物の舞台芸術に触れて～

11日、劇団「仲間」による鑑賞教室を開きました。コロナ禍でしばらく行うことができなかった鑑賞教室ですが、ようやく開催することができました。本事業は本来、学校と劇団が直接交渉して開催するのですが、今回はできるだけいいものを、できるなら「無料」で、ということで文化庁が学校向けに企画していた無料の巡回公演事業に応募して・・・見事当選！！今回の開催となりました。（担当の「引きの強さ」にびっくり）

今回の演目は「小さい'つ'が消えた日」。どんなお話しかと言えば・・・

※ 本も出版されていますので是非読んでみてください。

“あ”さんはいばりんぼ、“か”さんは優柔不断…舞台はいろいろな文字たちがすむ五十音村。そんな五十音村の住人たちが楽しみにしているのは、夜のおしゃべり。その日も、みんなであつまって自慢話に花を咲かせていました。ところが、小さい“つ”には音がありません。「音がないなんて、文字じゃない」とからかわれた小さい“つ”は次の朝、姿を消してしまいます。すると、どうしたことでしょう。いらなと思っていた小さい“つ”がいなくなっただけで、「うたえますよ」が「うたえますよ」になってしまうなど日本語は大混乱に…。ドイツから届いた、日本語の五十音をめぐるファンタジー。

<https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384055146/>

内容の面白さはもちろん、大がかりな舞台装置、照明、役者さんの演技・・・「本物」に触れ、子どもたちは目を輝かせながら見入っていました。

また、子どもたちが演劇に見入ってしまう要因がもう一つ。実は劇の中に5・6年生が出演したのです。先日3日に出演する児童対象にワークショップ・リハーサルが開かれていたのです。子どもたちは見事な演技を見せ、物語の演出に一役買っていました。

今回の鑑賞教室で感じたこと・学んだことを「北っ子まつり」に是非生かして欲しいと思っています。



メディアコントロールチャレンジ週間 10/10(火)～10/16(月)

「行動」がなければ「意識」も変わりません。まずは保護者の皆さんの主導で家庭で何らかの取組を実践に移すことを期待しています。

